

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(令和6年度)

調査表

施設名	県営国民宿舎えびの高原荘 県営えびの高原スポーツレクリエーション施設
指定管理者	小林まちづくり株式会社
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
県所管部課	商工観光労働部 観光経済交流局 観光推進課

1 施設利用状況

指 標	R6	R5	R4	増減理由等
宿泊者数	5,430	10,798	12,743	引継期間が十分に確保できなかったこと、従業員の確保に苦慮し、夕食付きプランの開始が6月からになったことなど、受入体制の構築に時間を要したことや、プロモーションの不足が影響し、宿泊者数は減少した。 温泉は、料金の見直しやキャンペーン事業への参加等により増加。スポレク施設利用者数は例年並みとなった。
温泉利用者数	7,461	5,536	7,161	
スポレク施設利用者数	17,699	16,505	19,498	
コメント	宿泊プランの多様化や団体の宴会・合宿受入れに取り組むとともに、プロモーションの強化を図る必要がある。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収 入	R6	R5	R4	支 出	R6	R5	R4
宿泊等売上	36,517	69,484	79,383	県納付金	0	0	0
スポレク施設売上	36,560	25,823	30,533	人件費	63,163	62,739	76,103
温泉・飲食等	65,107	74,655	82,062	仕入材料費	19,549	28,356	32,516
				管理・事務費	84,037	101,799	111,815
合 計(①)	138,184	169,962	191,978	合 計(②)	166,749	192,894	220,434
収支差額(①-②)	-28,565	-22,932	-28,456				
コメント	利用者数が伸びなかったことや、指定管理の1年目で消耗品や備品等の初期投資を要したことなどが影響し大幅な赤字となっている。						

3 管理運営状況

※下線部分は、令和6年度に新たに取り組んだ内容

事 項	実 施 内 容
維持管理業務	清 掃 日常清掃(本館・宿泊棟、浴室棟、駐車場)、受水槽・浄化槽の清掃
	保守・点検 飲料水水質検査(年2回)浄化槽点検(月2回)、高圧受電盤点検(毎月)、消防設備点検(年2回)、給湯用ボイラー性能検査(年2回)、昇降機定期点検(年6回)、アイススケート場冷凍機器保守点検 等
	警 備 24時間警備の実施、防犯カメラの設置
	修 繕 空調設備部品交換、レストランテーブル等修繕、水道設備部品交換 等
	備品等管理 定期的な清掃、点検、補修等の実施
	安全対策 災害対応のための避難訓練の実施(年2回)、非常用設備の点検 等
	そ の 他 適正人員の配置・シフト管理、光熱費の削減
企画運営業務	サービス提供体制整備 接遇の向上、アクセス道路の周知 等
	イベント等ソフト面充実 ななつ星in九州ツアーとの連携、えびの高原で開催される「山の日」イベントへの参加、温泉スタンプラリー企画への参加 等
	施設設備等ハード面充実 冬季の防寒対策(ホット飲料提供、ヒーターの貸出し等) 等
	そ の 他 SNSやタウン誌、テレビ番組等での情報発信
管理運営体制	業務のマニュアル化
コメント	協定書等に基づいた適正な管理が行われ、利用者からの要望に対する改善や利用者確保の対策を実施している。

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	利用者アンケート
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等
冬季の防寒対策	貸出用のヒーターを整備

5 総合評価

評価コメント	協定書等に基づき、概ね適正な管理運営が行われているが、指定管理の初年度で、受入体制の構築に時間を要したことなどが影響し、利用者数を伸ばすことができなかった。 引き続き、必要な管理運営体制を整え、利用者確保の取組を進める必要がある。
今後の課題と対応	宿泊者数の一層の増加による収支状況の改善を図るため、PR強化や魅力的な宿泊プランの造成に地元自治体や観光協会等と連携・協力して取り組む必要がある。